

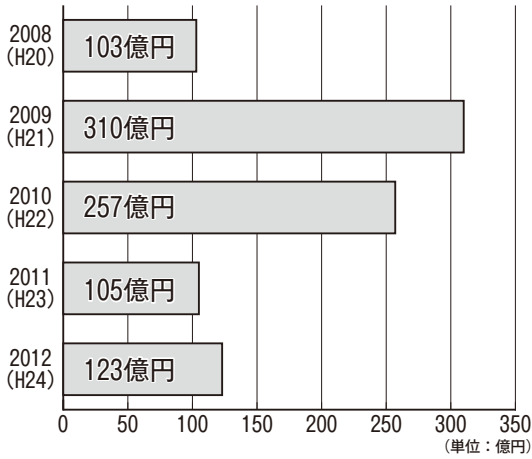
1984
2013
10/1

府職の友

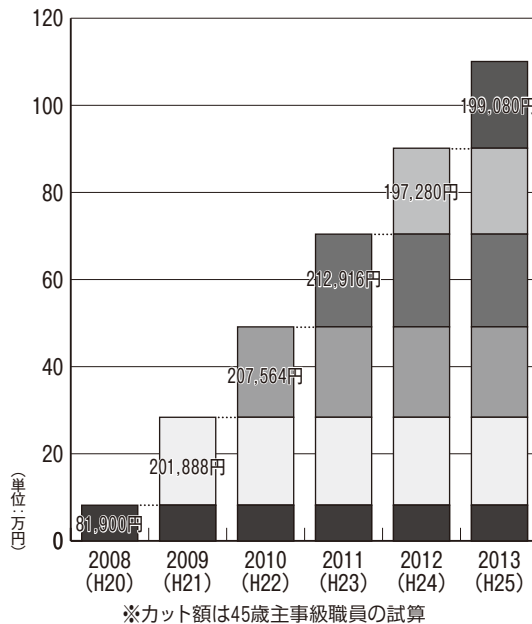
発行所/大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人/橋口 紀塩 編集人/田中 克義
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

2013府職労・市労組合同
地方自治研究集会
10月27日(日)
13:00~16:30
エルおおさか 大会議室

大阪府一般会計決算の黒字額



賃金カットによる年間の削減額



※カット額は45歳主事級職員の試算

賃金カット 今すぐ中止を!

みなんで府職労に加入し、当局に中止の決断を迫ろう

6年前、橋下知事(当時)は、就任直後に「財政非常事態」を宣言し、賃金カットを強行しました。この賃金カットが、6年経った今でも当たり前のように継続され、府職員の賃金カット・抑制は、13年間も続いています。府職労は賃金カットを直ちに中止させるため全力をあげます。

「非常事態」と言いながら、5年連続黒字

ここ数年の大阪府の財政状況は、全体として厳しい状況にありますが、決算は5年連続で黒字となり、財政調整基金に1千億円もの積み立てをしています。さらに、今年度については地方交付税も当初予算額よりも263億円も上回るという状況です。

橋下知事(当時)の言っていた「財政非常事態」とは言いがたい状況であり、賃金カットが「緊急的な措置」ではなくなっています。府当局は、直ちに賃金カットを中止し、まずは職員に対し、あたりまえの賃金を支払うべきです。

賃金カットが大阪経済にも悪影響

この間の府職員の賃金カットは、大阪の民間労働者の賃金にも影響し、大阪の勤労者所得は10年間で1割以上も減っています。そのことが、深刻化する大阪経済の低迷の原因にもなっています。

いまや政府も「景気回復には賃上げが必要」と認めていますし、松井知事も関西財界に対し、賃上げを要請しています。民間企業に賃上げを要請しながら、府職員の賃金カットを継続するのは、国家公務員に準じた賃金カットを導入させ

職員みなんで力を合わせよう

私たちが健康で働き続けるためのさまざまな制度は、私たちの先輩が力を合わせ、長い年月をかけて築き上げてきた大切な「働くものの権利」です。

大阪経済にも悪影響

府職労の奮闘で攻撃をはね返す

そうした中であっても、府職労と多くの職員のみならず、賃金カット額を圧縮させ、一時金(期末・勤勉手当)のカットを中止させる、国家公務員に準じた賃金カットを導入させ

全国青年大集会 in 東京に行こう!



10月20日(日)、東京・明治公園にて「全国青年大集会」が開催されます。この集会には全国から青年が要求を持ち寄り、大集合します。府職労青年部も代表を送ります。あなたも参加しませんか?

中森 貴大(土木現場支部) 現在、若者の生活実態が非常に悪く、給料もカットばかりで、生活が苦しい状況が続いています。さらに追い討ちをかけるように、消費税の増税も迫っています。また、ブラック企業の増加により、あり得ない労働条件やいきなりの切り捨てなど、多くの許せない実態があります。若者の声を変えていきたいと思ひます。全国の青年が参加します。いろいろ

府職労に加入しよう

すべての職員を集めることが何よりも大切です。労働組合が当局に対して大きな力を示せるのは、何と云っても数の力です。賃金カットを中止させ、自由に見える職場を守るため、すべての職員のみなさんの府職労への加入を心より呼びかけます。ぜひ府職労に加入してください。

中曽根 万紀子(保健所支部) 私は、景気をよくする方法や若者の生活をいい方向に変えていく方法については、詳しく分かっていませんが、今の若者の生活実態が悪いということだけはわかります。

「ブラック企業」「若者の貧困」「過労死」などニュースで報道されており、少しでもいい方向に変えたいと思ひます。たくさん仲間の考え方や意見を聞き、勉強できればと思ひ、参加しようと思ひました。

私は「原発なくせ」の集会には参加したことはありませんが、青年が中心となって行う集会は初めて参加します。たくさん青年に参加してほしいです。一緒に参加しましょう。

全国青年大集会 2013

とき 10月20日(日)
場所 東京・明治公園
11:00 分科会
13:00 メイン集会
15:00 アピールウォーク

遊歩道

大阪市の公募で就任した民間出身の校長の不祥事が相次いでいる問題がニュースで話題となっている。今春、民間から11人が採用されたが、3ヶ月足らずで退職した者、セクハラ行為を繰り返したとして減給処分された者、虚偽のアンケートを保護者に配ったとして厳重注意を受けた者、ほかにもセクハラやパワハラ、手続をせざるに職場離脱と半数の6名の民間出身校長が何らかの問題を起している▼民間出身だからすべてが悪いというつもりはないが、もっと慎重に議論して制度設計すべきではないだろうか▼市教委は来年度、採用を35名に拡大するとしているが、人数にこまごまこだわっているのはどうしてなのだろうか▼かと動いてしまう▼市長のコメントを見ていると、民間出身者の校長登用は自画自賛し、問題点は市教委の責任である、まるで成功すれば自分の手柄、失敗すれば他人の責任と言っているように、嫌悪感がさらに増大してしまう▼さて、府職労は10月から新年度がスタートする。職員が働きやすい職場、住民の願いの届く府政の実現をめざし、気持ちを新たにしていこう。